



## ご 挨拶

日頃より、私どもの活動にご理解ご協力ありがとうございます。

本年も「自然とふれあおう！わんぱく KIDS」を無事に開催できました事、ご報告させていただきます。多くの個人団体のご支援により開催することができました、心より感謝申し上げます。

昨今、会合などで、「この国は本当にどうなってしまうのか」と、何ともいえない悲痛な心情が挨拶のように交わされます。

自然災害や環境悪化、低迷した経済や社会保障不安、そして未熟な外交と、問題山積で挙げればきりがありません。現代日本になり最大の危機と言えます。それは、これらすべての問題の根本原因が、日本人の幼稚化にあり、社会を支える自立した日本人が失われた結果と思われるからです。

もともと日本人は、厳しい気候風土の中、自然災害を乗り越える胆力を持ち、また自然からの恵みに感謝し、自然と調和共生する知恵を持って暮らしてきました。近代においても、永年培った知恵と胆力で世界の中で発展してきました。

つまり、この知恵と胆力を持った自立した日本人が、日本の社会を支え発展させてきました。が、現代教育を受けた世代の社会となった今日、我欲と依存心が強い人間、幼稚な日本人が多くなり、この国の危機的状況をもたらしたものと考えます。

まさに、日本を再興する原点は、日本人の再生であり、教育の再生です。

それには、自分の考えを持ち精神的独立をし、他人の考えを理解し認め合う力を持ち、さらに率先して行動する勇気とリーダーシップを持った、「自立した人」づくりが必要です。

このキャンプは、「青少年の健全育成」「ボランティアリーダーの育成」を目的とし、「自分のことは自分でやる。一人でできないことは協力してやる。できる人はできない人を助ける。」自立と共生という社会の基本を伝える場です。

キャンプでの様々な体験を通し、参加した児童・リーダーの自立心・共助心・創造力醸成の一助となれば幸いです。

日本の置かれた状況は大変厳しいものですが、日本社会の再生の一助となるべく理念「自立型共生社会の実現」に向け活動してまいります。

今後ともご理解、ご支援よろしくお願い申し上げます。

平成 24 年 9 月 1 日

特定非営利活動法人 フレンドシップキャンプ  
理事長 喜 多 隆 正

## 事業概要

構成団体	主催	特定非営利活動法人 フレンドシップキャンプ
	後援	中央区教育委員会 特定非営利活動法人 東京中央ネット
	協力	中央区立宇佐美学園 社団法人 小田原青年会議所 特定非営利活動法人 宇佐美江戸城石丁場遺跡保存会 一般社団法人 木づかいビジネス協議会 特定非営利活動法人 魚食文化の会 中央区ラグビーフットボール協会（一般社団法人リバッソ）
主催団体	理念	「自立型共生社会の実現」
事業名称		第13回「自然とふれあおう！ わんぱく KIDS」 IN 宇佐美
事業目的		「青少年の健全育成」 「ボランティアリーダーの育成」
事業概要		リーダー2～3名 3～6年生の男女各1名 計10～11名の班を12班構成。 班別行動を基本とし、海・山・川の豊かな自然環境の中で各プログラムを体験する組織キャンプ。寝室は学年男女別の8室。
開催場所		中央区立宇佐美学園とその周辺地域及び小田原・湯河原地域
開催日		平成24年8月6日から8月10日 4泊5日
参加児童		中央区在住・在籍の児童3～6年生 計96名
ボランティア人員		大学生・大学院生 29名（文教・帝京・成城大学） リーダーOB 3名 高校生 2名 中学生 1名 地域の方 9名（宇佐美、湯河原地域） NPO・協力団体 10名 宇佐美学園職員 約20名
問い合わせ先		特定非営利活動法人 フレンドシップキャンプ MAIL： <a href="mailto:kids12@tokyochuo.net">kids12@tokyochuo.net</a> TEL：03-6226-6611
写真&報告書 DL		URL： <a href="http://www.npo-fc.or.jp">http://www.npo-fc.or.jp</a> （9月中旬ごろまでにアップ致します） トップページ ⇒ what's new! ⇒ わんぱく KIDS 写真）

## 主なプログラムのポイント

行動指針 「楽しむ、役割を持つ、協力する」

わんぱく KIDS 3つの約束

1. 「あいさつ、返事をしましょう。」  
⇒楽しくすごすには、コミュニケーションが大切。
2. 「時間を守りましょう。」  
⇒安全・快適に過ごすには、ルールを守ることが大切。
3. 「生き物は観察が終わったらもとに戻しましょう。」  
⇒自然との共生は、理解とやさしさが大切。

食事

手をつける前に自分の食事量を考慮し、同じテーブルのお友達とシェアをし、残さないようにする。嫌いなものは目標量を決めて食べる努力をする。

班旗づくり

自分の目標と班の目標を旗に描き発表、期間中の班旗とする。  
キャンプでの個人・班の目標を確認し、行動する。  
話し合っって班の目標を立てることで、仲間意識を高める。  
班の一員となることにより自己意識の醸成を促がす。

山・川・海での自然体験

都会で出来ない体験により自然への理解を深める。  
自然の危険性を認識した上で、遊びにチャレンジし、成功体験をする。  
自然は、人に恵を与えてくれる反面危険も多く、壊れやすいという気付き。

宇佐美と江戸東京講演・石丁場遺跡散策

身近な地域からの歴史理解(中央区と宇佐美のつながりなど)

食育ガイダンス・ひものづくり

人の食べ物は、他の生き物の命をもらっているという意識付け。  
家族をはじめ多くの人たちの労力があって食べ物があることの意識付け。  
自然の恵を得て人も生きているという環境意識の醸成。  
自己・他者を大切にすることの重要性の認識

木育ガイダンス・工作・積み木遊び

木材に触れる、創る、知ることによる森林と環境教育  
生活や遊びの道具を作ることで創意工夫し物を作る楽しさの気付き。

カレーづくりとコンテスト・思い出発表会

役割を分担し、目標に向かって全員で活動することの楽しさと重要性の認識。

キャンドルファイヤー

全体・班ごとでキャンプでの生活を振り返り、プログラムの収束を図る。

## 5 日間の様子

	1 日目
7:00	スタッフ集合
7:30	集合受付
	バス出発
8:30	トイレ休憩
10:30	湯河原体育館到着
	グループワーク レクリエーション
	幕山公園へ
12:00	昼食
	川遊び
	滝見学
15:00	湯河原出発
16:00	学園到着
	入所式・入浴
18:00	夕食・学園食堂
19:00	旗づくり
21:00	消灯
	リーダーミーティング



レクリエーションで  
子どもたちの緊張を  
ほぐします



↑ 川遊びを体験する子どもたち



↑ みんなで記念撮影!



↑ 部屋わりは学年別にわかれます。すぐに友達に!



↑ 旗づくり中



↑ 完成品☆

	2日目
7:00	起床・ラジオ体操
	朝食 学園食堂
8:30	海岸へ出発
	宇佐美海岸
	海水浴
	磯浜あそび
11:30	昼食 弁当
	ビーチフラッグス大会
14:30	宇佐美学園到着
	入浴
	班別行動
17:30	夕食 学園食堂
	宇佐美の歴史・石丁場 ガイドンス
	自由時間
21:00	消灯



左 宇佐美海岸で海水浴

右 箱メガネで生物を観察



左上 クラゲにさされた子どもは小児科の先生に診てもらいます

左下 ビーチフラッグス大会

上 入賞者にはドリンクの賞品が！



↑ 海岸でスイカ！夏です！

↑ 宇佐美の歴史ガイドンス



← 自由時間。ゲームで遊ぶ子どもたち

	3日目
7:00	起床・ラジオ体操
	朝食 学園食堂
8:30	班別行動
	・ 工作&積木
	・ 裏山遺跡散策
	・ プール遊び
	・ 班別自由
11:30	昼食 学園食堂
12:00	班別行動
	入浴
17:30	夕食 学園食堂
	入浴
	カレー食材取り
	宝探し
	自由時間
21:00	消灯
	リーダーミーティング



左上  
裏山の遺跡散策です

左下  
竹ではコップと箸をつくりました

上  
プールはやっぱり子どもたちに大人気！



←  
木のスプーンも  
つくりました☆

→  
「カプラ」という積木で  
塔を建設！



←  
暗号を解き、学園に眠る  
食材の宝を探し出します

	4 日目
7:00	起床・ラジオ体操 朝食 学園食堂
8:00	整理整頓
9:30	ひものづくり 食育ガイダンス
	昼食 学園食堂
12:00	班別行動 タグラグビーなど
14:30	カレー作り開始
17:30	夕食 中庭 入浴
	カレーコンテスト 結果発表 思い出発表会 キャンドルファイヤー
21:00	消灯 リーダー ミーティング



左上  
ひものづくり

左下  
築地魚河岸三代目  
生田さんによる  
魚のガイダンス



↑ カレーコンテスト表彰式



↑ 発表会で組体操を披露！



↑ タグラグビー体験



↑ 全体でのキャンドルファイヤー



←  
グループごとに振り返り  
名残惜しさに  
泣いてしまう子も・・・



	5 日目
7:00	大掃除
	朝食 学園食堂
	大掃除
9:00	退所式
	宇佐美学園出発
	小田原到着
	班別行動
	一夜城公園
12:00	昼食
	小田原出発
	トイレ休憩
17:20	到着
	解散



↑ 朝はいつも元気に！



↑ 食事中の様子



← 一夜上公園にてピース☆



← 最後に班ごとに記念撮影

### <ディレクター報告 (NPO・FC 井出 薪之介)>

本年度のわんぱく KIDS は、天候に恵まれ、宿泊先の宇佐美も比較的涼しく、ほぼ予定通りのプログラムを行うことができました。今回は初日の滞在先に、地域の方のご協力のもと幕山公園での川遊びを選択しました。

幕山公園の川は、例年の川よりも水温が低く、流れも非常に速いため、運営側にとってもチャレンジでした。子どもたちのなかには、最初は慣れない条件下での川遊びに戸惑う表情見受けられましたが、リーダー・スタッフが率先して遊ぶことで、徐々に慣れていき、ほとんどの子どもが、この川遊びに挑戦し、体験することができました。また、中央区立の小学校の体育の時間で採用され始めている「タグラグビー」をアクティビティとして取り入れ、好評を得ました。

さらにキャンプの収束として、4 日目～最終日の流れのなかに、班ごとの「思い出発表会」や「キャンドルファイヤー」、子どもたちとリーダーの「寄せ書きカード」なども実施し、例年にもまして、友達、リーダーとの結束が高まり、キャンプとしての質の向上を図ることができました。

これらのプログラムは、企画・実施・評価という各段階において、かなりの部分をボランティアたちに託しました。このような経験がボランティアたち、とくに教職を目指す学生たちへの育成につながっていると確信しております。

また、今年は、あいさつ、身の回りの整理・整頓、清掃、履物をそろえる・・・などといった、「生活」にも重点を置きました。子どもたちがわんぱく KIDS できるようになったことを、普段の生活で少しでも行えるようになることを願うとともに、ご家庭や地域などでの引き続きのご支援・ご指導のほどをお願い致します。

最後に、今年も、風邪でダウンしてしまう子が出てしまったり、残念なことに、カレーの調理中、子どもが鍋に具材を入れたところ、他の子どもの顔に油が飛び、火傷をする事故が発生しました。

関係者には深くお詫びするとともに、今回の事故の詳しい解析を進め、来年以降、さらなる安全管理体制構築への尽力を、固くお誓い申し上げる次第でございます。

わんぱく KIDS は子どもたちとボランティアの育成を目的とした事業です。教育には、私たちがのような NPO 組織だけではなく、保護者、地域、学校などがそれぞれ主体性をもち、連携し、協力する必要があります。まだまだ至らない点もあるかと存じますが、ぜひ、今後とも、変わらぬ、ご協力・ご支援のほど心よりお願い申し上げます。

## 協賛・寄付

(株)ロイヤルパークホテル	ライオンファイル(株)
永塚パートナーズ法律事務所	(株)隅田屋商店
伊豆山漁業(株)	東京晴海ライオンズクラブ
小坂こども元気クリニック	東京空港交通(株)
ブレインステッド(株)	(株)サヨカ
タチバナアーツ管理(株)	昭和工機(株)
(株)ソニックジャパン	(株)シゲマツ
JP ホーム(株)	(株)シガル
平和農産工業(株)	(株)中央コミュニティー
神林印刷(株)	木嶋 正佳
斉藤税務会計事務所	(株)セントラルエステート
(株)ネオ・コミュニケーションズ	魚河岸野郎(株)
(株)マウンテン・ワン	コールマンジャパン(株)

(※順不同 敬称略)